

事務事業名		支えあいまちづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	07 ともに支え合う地域づくりの推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 相互扶助の啓発と普及				01	03	01	03	72
根拠法令		生活困窮者自立支援法		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		事務事業区分				
部課名		保健福祉部長寿社会課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成13 年度～)						
所属	課長名	佐々木 義和		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	係名	高齢者福祉係	電話	26-2943						
	担当者	大津 泉	内線	直通						
	※全体計画欄の総投入量を記入									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 地域福祉の向上を図るため、大船渡市社会福祉協議会に委託して各種相談、ボランティア活動支援、見守り活動、ふれあいサロン活動、講演会、広報活動等を実施する。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
					人件費	都道府県支出金				
						地方債				
						その他				
						一般財源	事業費計(A)	0		
						正規職員従事人数	延べ業務時間			
	延べ業務時間	人件費計(B)	0							
	人件費計(B)	トータルコスト(A)+(B)	0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動) 各種相談、ボランティア活動支援、見守り活動、ふれあいサロン活動、出会い支援事業、講演会、広報活動等		ア	座談会実施回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ		イ	養成講座実施回数
② 対象(誰、何を対象にしているのか)* 人や自然資源等 社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会、市民		ウ	社協だより印刷配布回数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 福祉活動(見守り、介護予防等)を推進して、市民生活の安心・安定を図る。		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・ノーマライゼーション理念が正しく理解される。 ・支えあいの地域社会が構築される。		カ	ボランティア団体数
		キ	ボランティア登録人数
		ク	
		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		サ	養成講座受講者数
		シ	各種相談件数
		ス	サロン活動参加者数

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	事業費計(A)		千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	10	20	20	20	20
		人件費計(B)	千円	40	80	80	80	80
		トータルコスト(A)+(B)		千円	4,040	4,080	4,080	4,080
⑤ 活動指標		ア	回	0	0	0	0	
		イ	回	19	18	18	20	
		ウ	回	12	12	12	12	
⑥ 対象指標		カ	団体	32	33	34	36	
		キ	人	456	470	462	459	
		ク						
⑦ 成果指標		サ	人	133	192	105	179	
		シ	件	1,326	3,103	3,138	2,253	
		ス	人	4,454	2,124	2,659	2,873	

事務事業ID	1368	事務事業名	支えあいまちづくり事業
--------	------	-------	-------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
平成13年度から県委託事業で、福祉コミュニティ形成促進事業が創設されたことによる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
平成15年度に県補助事業の福祉コミュニティ形成促進事業が終了、平成16年度からは社会福祉協議会によるふれあいのまちづくり事業に移行した。平成17年度は市が事業主体となって「地域福祉ネットワーク事業」を実施。平成21年度から、補助名称の変更により「おおふなと支えあいまちづくり事業」と事業名を変更し、継続実施している。  
なお、担当課は23年度までは保健福祉課、24年度以降は保健介護センター(平成27年度からは機構改革により長寿社会課)となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
議会において、当初、三陸地区のみで開催していたふれあいサロン事業は、大船渡地区でも開催すべきとの意見が出されていたが、その後震災を経て、仮設住宅等におけるひきこもり予防として、全地域においてサロン事業を展開することとなった。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ふれあいサロンや各種相談事業、地域づくりセミナー、学習会は「ともに支え合う地域福祉の推進」に合致するものである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 地域福祉の推進は市民全体に係るものであり、市が率先して実施するものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象は市全体、全市民であり、福祉の推進は対象や意図を限定すべきものではない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 よりよい成果をあげるためには、メニュー等の工夫、研究の余地がある。 また、震災に伴い地域環境も随時変化しており、柔軟な対応が求められる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 震災を経て、地域での支えあいや住民同士の交流の必要性が増しているとともに、本事業は地域福祉事業を推進する主要事業であるため、休止、廃止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業の委託先である社会福祉協議会においては、現在も最小限の事業費で運営しており、これ以上の事業費削減は、将来的な成果の低下につながる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業を社会福祉協議会に委託している。 市における業務委託手続き事務も最低限の時間数で対応している。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 サロン活動参加者数 市内全域、全市民を事業の対象としており、受益者が偏ることはない。 また、ふれあいサロンの各種材料代は出席者負担とするなど、一部負担を設けている。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 震災からの復興状況に応じた見守り活動方法や地域における助け合い活動と市内に存在する支えあい活動につながる人的資源の連携方法など、業務内容を検討していく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	適切な事務執行がなされている。地域の実情に応じた事業を社会福祉協議会に委託して実施しているが、今後もニーズにあった事業を工夫・検討しながら実施していく。